

人と動物が気持ちや伝えられる印刷  
 ぼくは犬を飼っている。たまに犬と話した  
 らなと思う時がある。そうならば、いつもよ  
 り動物と関わる回数が増えると思っ  
 ている。例えば、犬がほえる理由、犬の調子はどうな  
 のか？など。それは人からの意見。動物から  
 は、どう思っているのか？、考えてみた。  
 人は今、何をやっているのか？何をしゃべっ  
 ているのか？など。数えれば、はい、浮かん  
 でくる。犬に限らず身近に居る猫、動物園に  
 居る、猿、象、水族館に居る、ペンギン、魚  
 など、様々な動物が居る。動物園や水族館に  
 家族や、友達と行く事があると思う。そこ  
 で動物と話せたらすごくおもしろいと思  
 う。それだけでなく、動物園、水族館に行く人が  
 増えると思う。それより野生の動物の、のら  
 猫が怖いと思う。なぜのら猫が怖いのか？考  
 えてみた。その問題は「人間」だ。育てるの  
 がめんどうくさくなって捨てた、にがしてしま  
 ったなど。そう言った事があるから、のら猫が怖

山本 海斗

いと思う。そののら猫も一つの大事な命があ  
 る。それを人は忘れていると思う。車にひか  
 れて死人でしまったり、どっかに預けられ  
 て殺されてしまったりする。それを平気で見  
 てる人間は野生の動物から見たらどう思  
 う？野生動物の敵。悪人。など、い  
 っぱい出てくる。そう言った事をぼくは止め  
 たいと思う。そのためには改善が必要  
 だと思う。やっぱり考えてすぐ出てくる改善  
 点は、人間一人一人が責任を持って育てる。  
 と言う事。今の人には「責任感」と言う文字  
 が頭にないのだから？これから人間一人一  
 人が責任感を持って生活すれば、のら猫など  
 減ると思う。そして、だんだんと少しづつ、  
 人と動物同士の気持ちや少しわかるのではな  
 いかと思う。ぼくは一人と動物の気持ち  
 がわかり合える世の中になってほしいと思  
 っている。自分を含めて人間だけじゃなく、  
 動物も思っているのに違くない。そのために  
 人間一人一人責任感を持つ事を忘れず生活し

山本 海斗

